

2013年8月25日から9月7日までの14日間にわたって、ドイツ中南部において巡検を行いました。参加学生による現地報告をアップしましたので、どうぞご覧ください。

今日は、ワイン用のブドウ栽培の様子を見るために、リュースハイムに行ってきました。一面に、ブドウの木が列をなして栽培されている様子は、昨年巡検でみた甲府盆地のブドウが棚で栽培されているのとは、はっきりと違っていることがよくわかりました。ブドウはまだ未成熟で、収穫には間があるようでしたが、それらが実って、収穫を迎えた様子を見ることができれば、もっと感動が大きかったのかなと、少しばかり残念な気持ちにもなりました。



リュースハイムのぶどう畑

8月27日

今日は、ヴェルツブルクに行ってきました。ヴェルツブルクはフランクフルトから東へ、ドイツの新幹線ICEで1時間くらいの距離にあります。ヴェルツブルクでは美しいまち並みや要塞を見ました。まちを歩いていると、さまざまな色の建物を見ることができましたが、要塞の上からみるとまち全体に屋根の色がそろっていて、とてもきれいで、かわいらしいまちだと思いました。



ヴェルツブルク

8月28日

ハイデルベルクにはフランクフルトからアウトバーンで1時間半ほどで到着しました。到着してすぐハイデルベルク城までケーブルカーで登り、城を見学しました。赤みを帯びた城は迫力がありましたが一度戦争の被害を受けていることもあって半ば廃墟のようでもありました。ネッカー川を挟んで市街地の反対にある哲学者の道から、カール・テオドール橋とハイデルベルク城を望む眺めは、とても綺麗でした。ハイデルベルクは全体的に静かな大学町と行った雰囲気、穏やかな時間の流れを感じるこのことのできるまちでした。



ハイデルベルク

8月29日

こんにちは (Bonjour)!

日本を発って5日目の今日は、ドイツを一時抜け出して、フランスのストラスブールに行きました。ストラスブールはドイツと接するためドイツとフランスの文化が入り交じったまちです。私たちはトラムを利用して世界遺産のプチット・フランスや大聖堂に行きました。プチット・フランスへは道に迷ってなかなかたどり着けないでいましたが、大勢のフランス人に助けってもらってなんとか到着することができました。フランス人の優しさを感じました。Merci!



ストラスブール

8月30日

今日は午前中、環境首都フライブルクの Vau Ban (ヴォーバン) 団地を訪ねました。団地内の建物は敷地ごとにエネルギー量が決められており、建物の構造を工夫してエネルギー消費量を削減するように努めています。建物を断熱材で囲い窓を3重にするなどしているため、外気温が-15°Cでも暖房を利用する必要がないとのことでした。また、団地内の道路は袋小路になっているため、通過交通の進入がなく、子供たちが路上で安心して遊べる環境になっています。午後は市の交通政策の実態を見学しました。フライブルクでは大気汚染を防止するため自動車の市街地への乗り入れを規制し、かわりにトラムやバス、自転車での移動を推奨しています。そしてそれらを促すために「環境定期券」が導入されていて、バスやトラムの乗り降りが自由になっています。



フライブルク

8月31日

今日はドナウ川の源流があるといわれる二つのまち、フルトヴァンゲンとドナウエッシンゲンに行ってきました。フルトヴァンゲンにあるドナウ川の源流は、自然豊かな森の中にあり、そのすぐ背後がドナウ川とライン川の分水嶺となっています。小さな沢ではじまる流れが3000km近くかけて黒海にたどり着くことに自然の雄大さを感じました。一方、ドナウエッシンゲンは、この町の近くで二つの川が合流し、そこからをドナウ川と呼ぶようになるので、ドナウ川源流のまちといわれています。町中にはドナウの井戸がありますが、今、付近を工事している最中で、残念ながら近くからその姿を見ることはできませんでした。



フルトヴァンゲン

9月1日

今日は、ノイシュヴァンシュタイン城に行ってきました。ルートヴィヒ2世の情熱が詰まったところでした。ある先生がバスを降りるたびに豪雨に見舞われ、なかなかの雨男っぷりを発揮していたのは残念でした。



ノイシュヴァンシュタイン城

9月2日

ミュンヘンに到着して一夜が明けました。今日はドイツ最高峰「Zugspitze (2962m)」を訪れました。山頂の気温は-3℃、足下には昨日降ったばかりの新雪が積もっていました。眼下には氷河が広がり、一同は皆、美しい景観に魅了されました。



ツークシュピッツェからの眺望

9月3日

今日は、ミュンヘンの旧市街地にあるヴィクトアリエン市場で、店の業種・立地踏査や市場に買い物に来ている人へのアンケート調査を行いました。この市場は地元の人はもちろん観光客の多い場所で、活気にあふれていました。市場は想像以上に広く、調査をするのは大変でしたが、野菜や果物を並べている店やパンや香辛料、花や雑貨を扱っている店など様々な店があり、見て回るだけでもとても楽しめる場所でした。



ヴィクトアリエンマルクト

9月4日

ミュンヘン中央駅から電車で揺られて30分、Puchheim 駅周辺には広大なとうもろこし畑が広がっていました。建物の多い中心地とは対照的に、遙か彼方までとうもろこし畑が広がっていました。日本ではあまり見られない広い土地を利用した大規模な農業を見ることができ、とても感動的でした。



ミュンヘン郊外の農地